

『福祉と税金』 第35号の購入、普及のお願い

不公平な税制をただす会の年次報告でもある最新号『福祉と税金』第35号のご案内をいたします。

『福祉と税金』第35号は、公平税制を広く世論に訴えるため、日本税財政の改革を第一部で共同代表の浦野広明が詳細に提言しています。また、当会はインボイス制度の廃止に向けて活動し、まだまだ諦めていませんので、皆様方のご協力が必要となっています。なお、2023年度の財源試算を行った結果約5兆8,425億円の新規財源が確保できることを明らかにしました。

当会は、これからも日本国憲法を大事にし、応能負担原則を重視し公平な税制を目指して活動してまいりますので、さらに皆様方には『福祉と税金』のご購入・普及をお願い申し上げます。

- 頒布価格 1部2,000円（送料別）
※注文はFAXでお願いします。FAX：03-3358-6926
- 注文先 不公平な税制をただす会 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町10-5
TEL：03-3351-7401
- 代金振込先 郵便振込「不公平な税制をただす会」00100-5-90278
銀行振込「不公平な税制をただす会」中央労働金庫 霞ヶ関支店 7506682

注文書	申込者	住所	申込数
		〒	
		TEL・FAX	



今号は運営委員で税理士の佐伯和雅さんです。



佐伯和雅運営委員

昨今、ChatGPTなどの生成AIが注目を浴びている。それと同じかそれ以上に危険性も指摘されているが、早速その影響を感じる場面があった。

税務署職員とやりとりで、私の質問に答えず(生成AI)、税務署内部で生成されたテンプレートでの回答しかできない職員が増えている。

かみ砕けば、組織が個人の「思考力を奪う」という事に他ならない。組織の一員ではあることは、組織のプログ

ラム通りにしか動けない、いわば傀儡でしかない。

税務署に限ったことではないのかもしれない。聞いてない、言われてない、知らないだから「やらない」ということが正当化されている風潮を感じる。

聞いてない、言われてない、知らないだから「やらない」

「人間は考える葦である」とはパスカルの言葉である。今こそ人間に与えられた「考える力」や相続力を最大限に発揮し、格差拡大の税制に待ったをかけましょう！